

田村のつぶやき 第25号

2024.6.4 発行

文責：島根県立江津高等学校長 田村康雄

挨拶（あいさつ）

最近街を歩いていてよく見かける光景です。向こうから歩いてくる人が、こちらから歩いていく人に気がつかず、すれちがう時に肩がぶつかってしまいました。よく見ると耳にはイヤホンをしてスマホを見ながら下を向いて歩いているので相手に気がつかなかったようです。ところが、ぶつかった人は、相手と目を合わすことなく、「ごめんなさい」も「すみません」も「失礼しました」もなく無言で立ち去ってしまいました。ぶつかられた人も、特に何も言いません。声を掛ける、掛けられるということが、面倒なこと、厄介なことと感じているのでしょうか。「おはよう」、「こんにちは」、「さようなら」、「ありがとう」。あるいは言葉でなくとも、目礼する。笑顔をかわす。そんな当たり前のコミュニケーションすらとれなくなってしまったのでしょうか。最近は、例えば街で知らない小さな子供に声を掛けると不審者扱いされるので、下手に挨拶もできないということでしょうか。何とも世知辛い世の中になってしまいました。

そもそも「挨拶」の「挨」の字は「押す」、「ひらく」という意味があり、同じく「拶」は「迫る」「押し返す」という意味があります。挨拶という言葉は、もともとは禅宗の言葉です。その語源は宋代に成立した仏教書に記載されている「一挨一拶（いちあいいっさつ）」とされます。「一挨一拶」は、ひとつ押しひとつ迫る、心を開いて接するというような意味合いで、問答を交わして相手の仏法修行の悟りの深さをはかる。言い換えれば、言葉のやりとりで相手の修行の進み具合を調べるというような意味でしょうか。これが「人と儀礼的に交わす言葉」という今日の用法に転じたわけです。

挨拶は、相手に対して親愛や尊敬などの気持ちを示すための振る舞いです。その場に適した挨拶、礼にかなった挨拶は、相手と良好な関係を築くきっかけにもなり、人間関係を円滑にするための手がかりにもなります。挨拶は相手があつての言葉です。声を掛ける、それに応じる。挨拶の言葉は声を掛け合うことで、お互いを認める言葉です。お互い顔と顔を合わせ、挨拶を交わすこと。それこそがコミュニケーションの第一歩であり、良好な人間関係の潤滑油となります。日本語には、多様な挨拶の言葉があります。「ありがとう」、「おおきに」、「だんだん」…。日本語は、挨拶の文化を豊富に備えた言葉です。

アメリカの作家であるデール・カーネギー（1888～1955）は「人に好感を持たれたいなら、誰に対しても挨拶をすることだ。挨拶ほど簡単でたやすいコミュニケーションの方法はない。」という言葉を残しています（ちなみに、このカーネギー氏は、ニューヨークにあるカーネギーホールを建てた鉄鋼王アンドリュー・カーネギー（1835～1919）とは別人です）。

SNS の普及で新たなコミュニケーション手段が次々に生まれています。SNS は便利なツールですが、時に思わぬ誤解を招いたり、無責任な発言で他人を傷付けたり、不快な思いにさせたりすることもあります。みなさん自身もそうした経験はありませんか。4月の情報モラル講座で警察の方からお話ししていただいたことを思い出して、SNS を正しく利用してください。

（次に続く）

校訓：思慮 高邁 貫徹

育てたい生徒像：自らの成長のために挑戦できる生徒

【県高校総体終わる】

5月30日～6月1日の日程で県総体が開催され、本校からもたくさんの選手諸君が出場しました。6月3日（月）の総体報告会で各部キャプテンから総体の結果について報告がありました。

＜主な成績＞

男女総合Bグループ第5位・敢闘賞、女子総合Bグループ第5位

男子ハンドボール優勝（4年連続21回目）、女子ハンドボール優勝（3年ぶり13回目）

⇒インターハイ出場（3年ぶり男女アベック出場）

空手道女子個人組手優勝 ⇒ インターハイ出場

女子ソフトボール第3位

このほか、女子バレーボール、男子ソフトテニス団体もそれぞれ1回戦勝利

3年生諸君は、総体が終わり、「切り替え」という言葉を飽きるほど耳にするとと思います。進路実現という次なる目標に向けて、「切り替え」ができないまま、ここでズルズルと時間を無駄にしている場合ではない。もちろん野球部、水球部、吹奏楽部のように夏の大会やコンクールを控えている人もいます。また、中国大会や全国インターハイなど上位大会に出場する人もいます。みなさんは焦る必要はありません。むしろ部活動が続けることで、逆に時間の使い方にメリハリが付き、勉強にも集中できるというメリットもあります。高校時代、吹奏楽部に所属して3年8月のコンクールまで部活動が続けた私が言うのだから間違いありません。もちろんその後は必死に受験勉強しました。

1、2年生諸君は、これからの1年を大切にしてください。総体報告会では、今回の県総体を総括し、各部の健闘を称え、特に3年生へねぎらいの言葉をかけました。今回の報告会は、来年の県総体に向けての激励会でもあります。3年生の先輩たちの思いをしっかりと受け継いで、練習に取り組んでください。

【芸術鑑賞会】

今年は3年に1度の芸術鑑賞会が以下のとおり開催されます。保護者の皆様も観覧可能です。

- ・日時：6月12日（水）13:30～15:10（現地解散）、午前中短縮3限授業
- ・会場：ミルキーウェイホール ※事前調査で、バス乗車を希望した人には別途指示があります。
- ・内容：古典芸能「狂言」（生徒の体験コーナーもあります）

【道路交通法改正～自転車の交通違反取締り強化へ～】

先月、16歳以上の自転車の交通違反に反則金を納付させる交通反則切符（青切符）制度の導入を柱とした改正道路交通法が可決・成立しました。2022年の統計では、自転車が関係する死亡・重症事故は約7,000件ありました。このうちの約7割が自転車側に交通違反（信号無視、前方不注意、一時不停止など）が確認された事故です。このため、自転車が関係する事故が増加するなかで、今回の法改正となりました。100項目以上の違反行為が対象となりますが、なかでも重大事故につながる危険性が高い違反行為が重点的な取締り対象となります。対象となる主なものは、以下の違反行為です。

- ・信号無視 ・一時不停止 ・携帯電話使用やイヤホンをつけての運転（ながら運転）
- ・右側通行 ・傘さし運転 など

生徒のみなさんは自転車を利用する機会も多いと思います。まずは自分の身を守るために、また場合によっては加害者にならないためにも、交通ルール・交通マナーの遵守を心がけてください。